

# 株主通信 秋号

## 2019年9月期 第3四半期業績のご報告

(2018年10月1日～2019年6月30日)



2019年春号より株主通信のタイトルを「接点」といたしました。「接点」の言葉には、株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの方々より緊密な関係を構築したいという私たちの強い思いを込めました。また、当社のプローブカードは、ピンがICチップの電極に「接触」して電気信号を測る器具です。当社の経営姿勢と製品の特長を象徴する言葉として、当社では社内報にも「接点」の表題を掲げています。今後も株主の皆様と素晴らしい接点を持ち続けることができるようIR活動の一層の深化に努めてまいります。

株式会社 **日本マイクロニクス** 証券コード：6871

本株主通信は2019年3月末時点での株主の皆様にお送りいたしますことをご了承ください。

### 株主・投資家の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに2019年9月期第3四半期業績について、ご報告いたします。

当第3四半期連結累計期間におけるFPD市場は、大型液晶テレビ等の最終製品の需要が伸びていない状況が続いており、軟調な市況となりました。また、半導体市場につきましても、これまでの半導体消費をけん引してきたスマートフォン需要が頭打ちになったことに加え、半導体メーカーの設備投資減速やデータセンター関連需要の低迷で、特にメモリ分野においては想像以上に低調に推移しました。

さらに、米中や日韓の貿易摩擦により半導体を取り巻く市況は不透明性を増しておりますが、このような状況下におきましても、当社は引き続きQDCCSS\*の推進により、品質や納期での競争力を高める活動に注力してきたとともに、これまで以上に顧客やパートナーとの緊密な関係を築くことで、シェアの維持に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,282百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益2,147百万円（前年同期比11.9%減）、経常利益2,276百万円（前年同期比12.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,595百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年9月

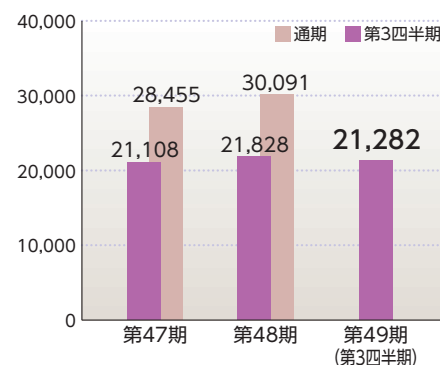
代表取締役社長 **長谷川 正義**

\*QDCCSS(呼称:クダックス)

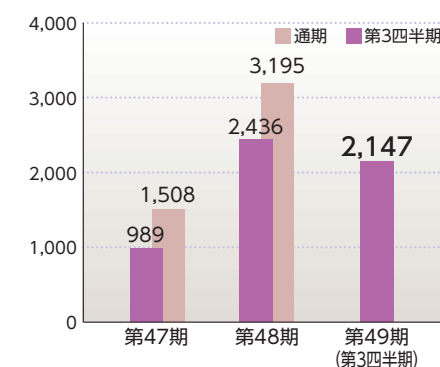
当社独自の総合管理システム。製品の開発から製造、資材、物流、管理、システム構築のあらゆる段階において、すべての社員の力を結集してQuality, Delivery, Cost, Compliance, Service, Safetyの改善及び改革に取り組んでいる。



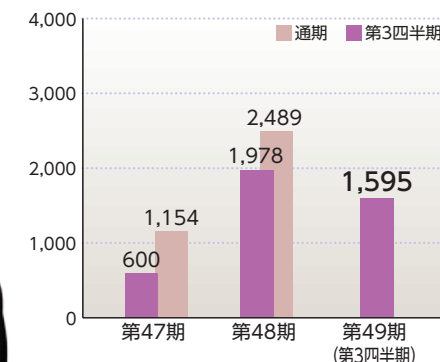
売上高(百万円)



営業利益(百万円)



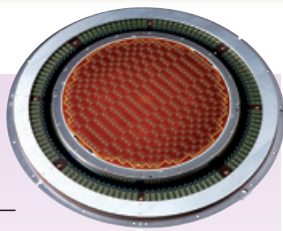
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(百万円)



## » 営業の概況

### プローブカード事業

第3四半期(3ヶ月)のメモリ向けにつきましては、上期のような力強さに欠けたものの底堅く推移し、累計の売上高は前年同期比で増加しました。しかしながら、一部顧客が設備投資計画を先送りしていることに加え、プローブカード需要に影響を与えかねない生産量も調整局面に入ったと考えられるため、第4四半期以降は、厳しい環境が続くと予想しています。一方、ロジック向けは、市況は底堅く推移しているものの、拡販活動が業績に寄与する水準までには至らず、売上高は減少しました。利益面におきましては、プロダクトミックスの変化や費用の増加等で第3四半期(3ヶ月)は低調となりましたが、高水準であった上期の利益と合わせ増益となりました。

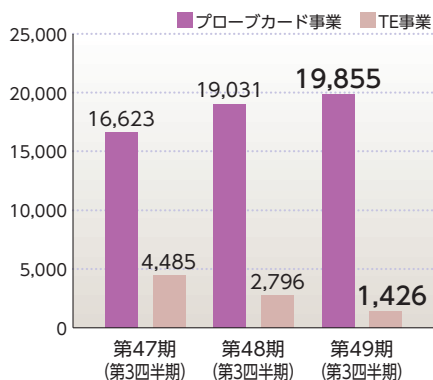


### TE事業

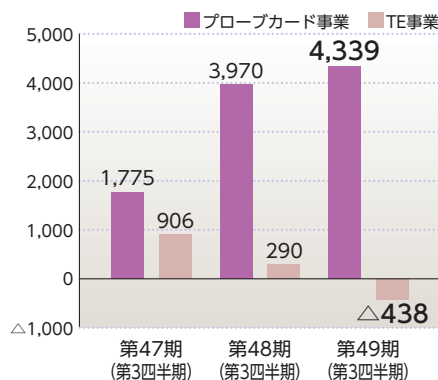
売上高は、顧客の生産調整等で設備投資計画が先送りされていることもあり、低調に推移しました。利益面におきましては、売上高の減少に伴い費用等の低減に努めたものの、前年同期比で減益となりました。



### セグメント別売上高(百万円)

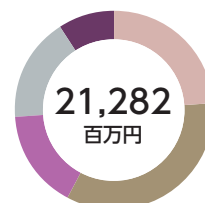


### セグメント損益(百万円)



※セグメント利益には、全社費用は含まれません。

### 地域別売上高構成比(百万円)



日本	5,203	(24%)
韓国	7,256	(34%)
台湾	3,381	(16%)
その他アジア	3,529	(17%)
欧州・米国	1,913	(9%)

## » 通期業績予想

売上高

**27,700** 百万円

営業利益

**1,500** 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

**1,100** 百万円

1株当たり配当金

**10.00** 円

## TOPICS 決算期の変更について

当社は、2019年12月に開催予定の第49期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期を9月末から12月末に変更し、その経過期間となる第50期は、2019年10月1日から2020年12月31日までの15ヶ月決算とする予定です。また、3ヶ月遅れで連結していた連結子会社につきましても決算期末日を12月31日に統一いたします。これにより、タイムリーで分かりやすい業績等経営情報の開示を引き続き図ってまいります。

■ 期末決算発表 ■ 四半期決算発表 ■ 定時株主総会



※連結の範囲：親会社3ヶ月(10-12月)、海外子会社6ヶ月(7-12月)

## » 株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式会社 **日本マイクロニクス**  
**MICRONICS JAPAN CO., LTD.**

本社 〒180-8508 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-6-8  
 HPアドレス <http://www.mjc.co.jp/>